



Letter from Jordan No.35

2022-1 次隊 岡崎 友里

○○○遺跡へ行ってみた！

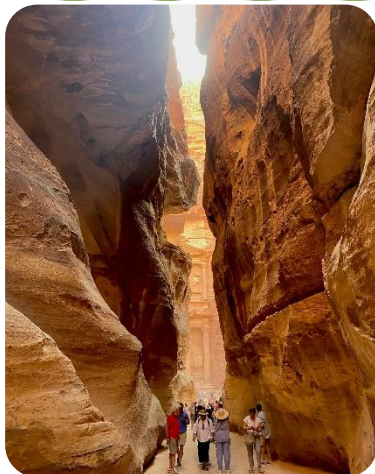
ヨルダンといえば、有名なのがペトラ遺跡！あの「Indiana Jones」の映画ロケ地としても有名な遺跡です。実際に訪れてきました。また、ペトラ遺跡で活動する隊員もいるのでその活動も一緒に紹介します。



ペトラ遺跡は、3作目「最後の聖戦」の中で、最後の晚餐でキリストが使った聖杯を探して、ナチスドイツとインディアン親子が「三日目の谷」と呼ばれる場所を訪ねる場面で登場します。インディアンたちが神殿に入るシーン…実は撮影に使ったのは外観のみで、映っていた神殿は、実際はお墓だったそうです…。

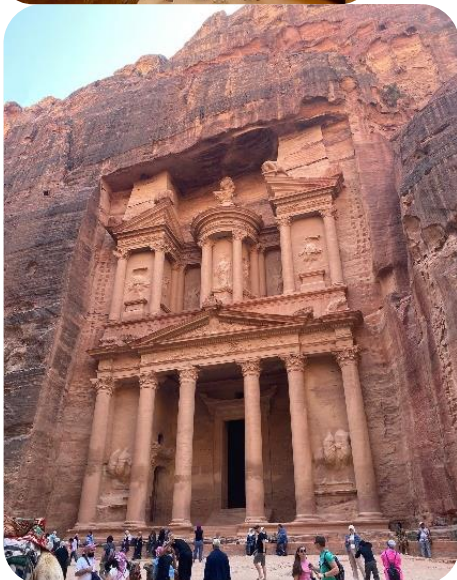
3作目だけでもぜひ鑑賞してみてください。

ペトラ遺跡は、ユネスコ無形文化遺産に登録された世界遺産です。「ペトラ」は、ギリシャ語で「崖」を意味しています。2000年以上前(日本は弥生時代ごろ)に定住したアラブ人の一族ナバテア人が切り立つ岩壁を削って建てた大都市です。かつて、商業や交通の要地として栄え、古代東方文化とヘレニズム(ギリシャ)文化との融合が見られる建造物や彫刻が多くありますが、何の目的で作られたかもはっきりしないものが多く、謎に包まれています。



ペトラ遺跡の中心部へと導く峡谷(シーク)は、幅2m、長さ1.5kmあり、両側の絶壁は90~180mの高さで、地質断層が見られます。

岩肌は、日の当たる角度によって色が代わり、時期や時間によって異なった雰囲気を見せます。現在は水が流れていませんが、両側の絶壁には水路の跡が見られ、シークが主要な交通路だったことがわかります。また、壁には祈禱用の碑や彫刻、霊石などが見られ、「シークには訪れる人を魂の内部に導く」という宗教的な意味もあったと考えられているそうです。



シークの終わりは一段と狭くなり、切り立った絶壁の間からエル・ハズネ(宝物殿)が姿を現します。エル・ハズネは高さ約40m、幅約25mあり、紀元前30年~9年の間に建設されたと考えられています。住民の間では、エジプトのファラオの宝物が隠されていると信じられていたのですが、実際は内部に何も残っていないため、神殿として使われたのか、王の墓だったのか分かっていません。現在は中には入れず、外から内部を覗くのみです。この建物には、ヘレニズム文化の影響を受け、コリント様式やなど、様々な建築様式が使われていることから、当時、この地域がギリシャ、エジプト、シリアなど、様々な地域の文化の影響を受けていたことが分かります。

こんなにも大きくて立派なものを当時、わずかな道具(のみと金づち)で岩を掘って作ったと考ええるとさらに驚きが増します。

そんなペトラで活動中の隊員は…

ラーミズさん。長野県出身。現在の趣味は、ヨルダンのカフェ巡り。最近は自然とショート動画作りにハマっている。お気に入りのアラブ料理はマンサフとモロヘイヤスープ。

ラーミズです。

(アラビア語の名前です。)



ラーミズさんは、首都アンマンから車で約4時間離れたペトラに近い街で生活し、活動しています。



@VISIT_PETRA

スキャン

またはクリック！

ヨルダン国内外の観光客に向けて情報発信をしたり、実際に来てくれた方に直接ペトラの魅力を伝えたりしています。



～道中撮影写真～

- ・移動は馬やロバ、ラクダ
- ・昔の門番さんの衣装を着た人
- ・長い道を歩いた先にある景色たち



暑くて…大変でした…



JICAの支援(約7.84億円)で建てられた博物館があります。



スキャンまたはクリック！

ローマ円形劇場



エル・ハズネ(宝物殿)からさらに奥にファサード(岩山に作られたお墓の正面や側面)が見られ、それらが連なるファサード通りと言われる道を進むと、ローマ円形劇場、墓地群、凱旋門などが現れます。凱旋門の周辺は、ローマ時代には街が形成されていて、王家の墓や神殿があったと考えられています。ファサードの最終地点は山道へと続き、ここを登るとエド・ディル(修道院)に着きます。エド・ディルは標高1,000mに位置し、900段以上の階段を登り切ったところに現れる姿は圧巻です。エル・ハズネ(宝物殿)に似た建築様式ですが、エル・ハズネより一回り大きく、高さ約45m、幅約50mあります。他にも魅力はたくさん！間違いなく、一度は訪れてほしい場所です。

エド・ディル(修道院)



Let's talk in Arabic のスペースが無くなっちゃいました。では、また次回！ مع السلامة

